

# 新しい自分を見つけよう！きらりキャンプ in 阿蘇～冬編～

## 事業報告書

事業推進室長 安部 信吾

### 1 事業の概要

- (1) 趣 旨 自然体験を通して、熊本地震の影響や不登校（不登校傾向、別室登校などを含む）など心に悩みをもつ青少年に自然体験の楽しさや達成感を感じさせ、自己肯定感を育む。また、交流の家での生活を通して、規則正しい生活のよさや友達と交流する喜びを感じさせ、基本的な生活習慣づくりのきっかけとなるようにする。
- (2) 期 日 平成30年11月17日（土）～18日（日） 【1泊2日】
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家  
阿蘇スロー窯（住所：阿蘇市小里478-20 TEL：0967-32-3511）
- (4) 参加者 6名（中学生1名・小学生3名・保護者2名）
- (5) 担当職員 安部 信吾（事業推進室長） 花田 誠（企画指導専門職）  
前田 夢依（事業推進係員） 古閑 仁美（事業支援室事務補佐員）  
法人ボランティア1名
- (6) 内 容 【1日目】陶芸体験、自分たちで活動を考えよう（鬼ごっこ・バドミントン・卓球・ボードゲーム）  
【2日目】ターザン遊び、ツリーイング体験（アウトドア南阿蘇 knot）

### 2 成果と課題

#### (1) 成 果

- 今回初めて会った参加者同士も活動をするなかで打ち解けていき、声を掛け合いながら楽しい時間を過ごすことができていたようだった。少ない人数ではあったが、友達と交流する喜びを味わうことができたようだった。
- 創作活動、自然の中での遊び、ゆとりのあるプログラムの設定をすることで、体験活動の楽しさや達成感を感じさせることができ、高い満足度を得ることができた。（満足度100%）
- 「体を動かす時間、個々に向き合う時間とあって、両方楽しめてよかったです。」との感想から、活動を自分たちで考えさせる場を設定し話し合いを行うことで、自分と向き合うこと、相手と自分の考えや意見の違いを擦り合わせたり折り合いをつけたりしながら意見をまとめることなどの機会をもつことができた。

#### (2) 課 題

- 小中学校だけでなく、熊本学習支援センターやフレンズネットワーク等へも広報を行ったが、今回の参加はなかった。今回の参加者から知人への紹介もしていただけるとのことなので、早めの広報を行うとともに、広報先の拡大を図る必要がある。